

第 7 回 ロクハ公園プール検討委員会
議事要旨

1. 日時

令和 7 年 9 月 10 日（水）14:05～15:30

2. 場所

キラリエ草津

3. 委員

下表のとおり

※五十音順（敬称略）

氏名	所属名等
いちい よしふさ 市井 吉興	立命館大学 産業社会学部 教授
くちの たかし 口野 隆史	元 京都橘大学 発達教育学部 教授
くぼた あきひろ 窪田 明裕	草津・栗東地区労働者福祉協議会 副会長
さとう みか 佐藤 三佳	公募
しちり まさし 七里 昌司	草津市公立保育所・公立認定こども園保護者と先生の会連絡協議会 会長
すずき のぼる 鈴木 登	草津市まちづくり協議会連合会 副会長
ふだもと いずみ 札本 泉	公募

4. 欠席委員

1 名（佐藤委員）

5. 事務局

草津市 建設部：福井理事、西田副部長

草津市 建設部 公園緑地課：松尾課長、梅原課長補佐、田中課長補佐、松尾主幹、垣谷

6. 傍聴者

2 名

7. 委員会資料

プレゼン資料

委員名簿

座席表

ロクハ公園プール基本計画（案）/概要版

8. 議事の概要

- ・新たな提案内容をご理解いただき、全員一致で支持いただくことができた。
- ・来年度基本計画修正案をもって委員長より市長に答申いただく。

1 開会

草津市 建設部 専門理事より開会の挨拶を行った。

委員紹介

2 議事

ロクハ公園プール

事務局より、以下の資料について説明を行った。

- ・プレゼン資料

委 員： 市としてはロクハプール再整備にかかる予算の目標などはあるのか。

事 務 局： 当初の想定していた額の範囲内でより良い形になるように検討を重ね、手法を変えて費用を抑えられるように考えている。

委 員： 現在あるじゃぶじゃぶ小川との連携や、すみ分けなどを検討すべきでは？

事 務 局： 今後、すみ分けを検討し、新たな使い方を検討していきたいと考えている。

委 員： 熱中症対策を引き続き検討すべきでは？

事 務 局： 現在のプールには日陰スペースが少ないため、大屋根を設置することで日陰を確保し、熱中症対策の一つと考えている。また、管理棟の改修に伴い、冷暖房完備の休憩スペースの確保も検討している。

委 員： アンケート結果でもあるように、流水プールの満足度が高いため、流水プールををなくしていいかを再度アンケート取って市民の声を聞いた方がいいのではないのか？

事 務 局： アンケートの趣旨は既存のプールの中で 1 番好きな施設は何ですか？というような質問であったこともあるが、流水プールはロクハプールの中で一番の目玉ということは間違いないと思う。次回の改修にあたっては、可変可能な空間で、夏はビニールプールなどで水辺を残しながら夏場以外でも、年間を通じて利用な設えにしたいと考えている。アンケートに関しては検討します。

委 員： レジャープールを利用するのは年に 1 度か 2 度というイメージを持っているが、小さい子供がいる親としては、水深の深いプールよりはじゃぶじゃぶ小川のようなもののほうがありがたいと思っている。じゃぶじゃぶ小川のような水遊び場であっても、更衣室みたいなものがあればありがたいと思っており、また、男子トイレにもおむつを替えるスペースの設置をお願いしたい。

値段設定についても、納得感のあるものにしてほしい。

委 員： 今回の新たな提案になると、小学生高学年や、中学生には物足りないのではないかと思う。この案で決定なのか？

事務局 決定事項というのではなく、今回は新たな案として提案させていただいているものである。この新たな提案に至った理由としては様々な事業者にもヒヤリングをする中で、ロクハ公園全体を改修していく際には、集客のコアとなる施設が必要とのことであり、夏のみではなく、年間を通じて賑わいを生み出すことができれば飲食店の誘致などにもつながっていくというものであったためこのような案の提案を行うこととなった。新たな提案で整備するメリットとしては、夏はビニールプールなどで水遊び場を演出して、夏以外の季節はマルシェや、エア遊具などで可変可能な形で年間を通じで賑わいを創出できる点であると考えてる。

委員 子供中心にアンケートを取った方がいいのではないかな？

事務局 アンケートについては検討する。市民アンケート結果でもあるように、レジャー施設や、小さな子どもが水と触れ合える施設という意見は取り入れた提案になっていると考えている。また、

委員 スライダーはなくなるのかな？

事務局 エア遊具での代用を考えている。高さ9メートルの長いスライダーなども組み合わせ、小学生にも楽しんでもらえるようなレジャープールにしていきたいと考えている。

副委員長 流水プールの人気が高いのはアンケートからも見て取れるが、新たな提案のような設えにすることで年間を通じて利用が可能であり、事業費も安く抑えられるのであれば、演出の方法次第で賑わいを創出でき、いい案ではないかと思う。

委員長 事務局からの新たな提案にすることで、気温上昇などの環境変化に対応しながら可変可能な形にすることができるという点が強みであると考えてる。

年間を通じてロクハプール全体の賑わいの創出を生み出すことができるのではないかと感じ、既成概念にとらわれず、新しいことをしたいんだという気概を感じた。

委員 子供に向けてのアンケートを取る案があったが、今の小学生や中学生は5年後対象年齢であるかわからないなか不透明な部分が多いことから、子供を育てる親の意見が有効になると思う。それでいくと今のアンケート結果で充足しており、市民アンケートの3000名の回答に沿った提案になっており、新たにアンケートを取る必要はないのではないかなと思う。

3 閉会

草津市 建設部 副部長より閉会の挨拶を行った。